

一般国道307号 (市辺^{いちのべ}～奈島^{なしま}) (城陽市市辺^{じょうよう いちのべ}～奈島^{なしま})

一般国道307号は、滋賀県彦根市^{ひこね}を起点とし、宇治田原町^{うじたわら}、城陽市^{じょうよう}、京田辺市^{きょうたなべ}を経て、大阪府枚方市^{ひらかた}に至る幹線道路で、京奈和自動車道等に連絡し、災害時に重要な役割を担う第2次緊急輸送道路に指定されています。また、現在建設中である新名神高速道路の宇治田原IC(仮称)予定地に位置し、アクセス道路としての重要性が高まっていますが、当該区間は、線形不良箇所が連続し、車両の円滑な走行の支障となっています。

このため本事業は、線形改良を実施することで、高速道路へのアクセス等の向上を図るもので、平成27年度から事業に着手しております。

平成28年度は、用地測量を実施します。

◎事業概要

全体計画	H27までの実績	H28計画
事業期間：H27～H35 事業延長：1.3km 幅員：6.5(10.5)m 総事業費：約9億円	事業概要：測量・設計 事業費：0.2億円	事業概要：用地測量 事業費：0.1億円

◎事業効果

- 線形改良により、現道の交通難所を解消し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 第2次緊急輸送道路としての信頼性が向上します。
- 高速道路へのアクセス向上により、地域産業の振興や交流人口拡大等に寄与します。

現道の状況



位置図

